

◆教育目標 **深く考え 心豊かに 実践する生徒**

◆重点目標 「**これからの社会をよりよく生きぬく生徒**」(目指す生徒像)

◇指導の重点

- 自ら課題を設定し、課題解決に向けて、主体的に行動する。
- 自他の違いを認め合い、他を尊重しつつかかわり合い、合意形成する。
- 社会の変化に対応し、柔軟な発想と豊かな表現で未来を構想する。
- 世界的視野で考え、地域での活動を通して、地域貢献や社会貢献をする。

◇重点事項詳細

### 1 主体的・対話的で深い学び

○主体的・対話的で深い学びとなるように授業改革を推進し、学力の向上を図る

- ・振り返りの書き方(内容)や頻度に関する研究を継続。  
(要件のうち「何を学んだか?」「どのように学んだか?」「何ができるようになったか?」など、観点を絞って振り返らせる)
- ・教師が、生徒一人一人の「基礎基本を含む学び」を把握できる振り返りのさせ方。
- ・振り返りに繋がる「まとめ」、そのための課題設定の工夫。
- ・授業公開(区指導主事訪問 等)の機会に研究授業を実施。

### 2 自律性と社会性

○生徒の自律性と社会性を高めるための取組を進める

- ・諸活動(行事、プロアクティブ、諸活動、委員会等)の目的・ねらいを以下の点で明確にする。
  - 1) 生徒が創るもの → 教育目標 ①深く考え(=主・対・深い学び)  
②心豊かに(=自律性・社会性・共生)実践する
  - 2) 教師が与えるもの → 教育ビジョン①主体的・対話的・深い学び  
②自律性・社会性の育成  
③共生、個別最適のための合理的配慮
- ・存在価値を高め、よりよい人間関係を築く異学年交流の実施。  
(キャリア形成:リーダーの役割、指示に従ったりフォローしたりする役割)

### 3 共生教育・UDL

#### ○的確な情報共有、対応の共通理解と環境調整で、個別最適な合理的配慮の提供を行う

- ・支援を要する生徒（家庭への対応含む）に関するケース会議の定期開催。
- ・LITALICO を用いて、都度更新、データ蓄積。会議で活用。（職員で共有）
- ・生徒のニーズに応じた学習環境の提供。（保健室からの振り分け）  
（SSR：少人数＋教師補助、TDR：複数名で個学習、GSR：完全個学習）

### 4 健康体力の向上・基本的生活習慣

#### ○三点固定の定着で、規則正しい生活習慣と生活リズムを構築させるとともに、メディアコントロール力を高め、生活習慣の改善を図る

- ・三点固定の定着、食、メディアコントロールの見直しで生活習慣の改善を図る。  
→特に、メディアコントロールに関しては、学校運営協議会でも話題に上がっている。  
→学習強調週間に【三点固定＋メディアコントロール】で重点的に。
- ・保健委員会他、各委員会で三点固定に向けた活動を計画。  
（各委員会は、「自主・自発的な取組＋学校課題（三点固定）的な取組」で、活動計画を立案）  
⇒自律性・社会性の育成とのコラボレーション

### 5 地域連携～夢・未来・南浜プロジェクト～

#### ○地域と共に南浜の未来を創造し、連携して地域に貢献できる生徒を育てる

- ・CS での活動の実施課程（目的、内容、方法等）を明確にする。  
→実施まで見通した、学校からの内容・スケジュールのフォロー、共有が必要。
- ・保護者の参画の在り方を検討。  
→アンケートを実施し、参画意識を高める。  
（保護者と一緒に活動する授業参観や学校行事を企画し、参加を促す等）

